

令和 3 年 度

さいたま市病院事業会計予算
及 び 予 算 説 明 書

令和3年度さいたま市病院事業会計予算

(総則)

第1条 令和3年度さいたま市病院事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 病	床	数	637床
(2) 年	間	入院患者数	181,040人
(3) 年	間	外来患者数	223,850人
(4) 一	日	平均入院患者数	496人
(5) 一	日	平均外来患者数	925人
(6) 主	要	な建設改良事業	
	市立病院施設整備事業	事業費	800,218千円

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。なお、営業運転資金にあてるため、一般会計から長期借入金783,000千円を借り入れる。

		収	入
第1款	病院事業収益	21,482,908千円	
第1項	医業収益	17,937,133千円	
第2項	医業外収益	3,545,773千円	
第3項	特別利益	2千円	
		支	出
第1款	病院事業費用	24,816,583千円	
第1項	医業費用	23,800,853千円	
第2項	医業外費用	1,005,728千円	
第3項	特別損失	2千円	
第4項	予備費	10,000千円	

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1,656,340千円は、過年度分損益勘定留保資金等で補填するものとする。）。

収 入

第1款	資 本 的 収 入	1, 9 6 7, 0 2 6 千円
第1項	企 業 債	1, 0 0 8, 3 0 0 千円
第2項	出 資 金	1 0 9, 9 6 9 千円
第3項	負 担 金	8 4 6, 4 2 4 千円
第4項	固定資産売却代金	1 千円
第5項	寄 附 金	1 千円
第6項	国 県 補 助 金	2, 3 3 0 千円
第7項	市 補 助 金	1 千円

支 出

第1款	資 本 的 支 出	3, 6 2 3, 3 6 6 千円
第1項	建 設 改 良 費	1, 7 4 5, 9 0 3 千円
第2項	企 業 債 償 還 金	1, 8 7 7, 4 6 3 千円

(債務負担行為)

第5条 債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、次のとおりと定める。

事項	期間	限度額
市立病院外構工事修正設計業務	令和3年度から 令和4年度まで	23,734 千円
さいたま市立病院建設事業環境影響評価事後調査書作成業務(その2)	令和3年度から 令和5年度まで	23,243 千円
一般撮影装置外保守業務	令和4年度から 令和7年度まで	88,924 千円
三次元放射線治療計画装置保守業務	令和4年度から 令和7年度まで	33,880 千円
手術支援ロボット対応手術台保守業務	令和4年度から 令和7年度まで	4,840 千円
電子図書購読料	令和4年度から 令和6年度まで	8,399 千円
医事業務	令和4年度	494,042 千円
さいたま市立病院医療総合情報システムオペレーション業務	令和4年度から 令和6年度まで	94,199 千円

(企業債)

第6条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
市立病院施設整備事業	716,500千円	普通貸借 又は 証券発行	5.0%以内 (ただし、利率見直し方式で借り入れる資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の年度における利率とする。)	政府資金等についてはその融資条件により、銀行その他の場合にはその債権者と協定するものによる。ただし、財政の都合により据置期間及び償還期間を短縮し、又は繰上償還若しくは低利に借換えすることができる。
市立病院医療機器整備事業	284,900千円			
オンライン資格確認システム構築事業	6,900千円			

(一時借入金)

第7条 一時借入金の限度額は、3,500,000千円と定める。

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第8条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

(1) 給与費	11,557,297千円
(2) 交際費	414千円

(たな卸資産購入限度額)

第9条 たな卸資産の購入限度額は、4,731,849千円と定める。

令和3年2月2日提出

さいたま市長 清水 勇 人

予 算 説 明 書

令和3年度さいたま市病院事業会計予算実施計画

収益的収入及び支出

(単位 千円)

収 入		(単位 千円)	
款 項	目	予 定 額	備 考
1	病院事業収益	21,482,908	
1	1 医業収益	17,937,133	
	1 入院収益	13,152,443	
	2 外来収益	3,551,120	
	3 負担金交付金	829,933	負担金
	4 その他医業収益	403,637	
2	2 医業外収益	3,545,773	
	1 受取利息配当金	1	
	2 国県市補助金	37,941	
	3 負担金交付金	2,447,021	負担金
	4 長期前受金戻入	858,645	
3	3 特別利益	2	
	1 固定資産売却益	1	
	2 過年度損益修正益	1	

(単位 千円)

支 出		(単位 千円)		
款 項	目	予 定 額	備 考	
1	病院事業費用	24,816,583		
1	1 医業費用	23,800,853		
	1 給与費	11,557,297	人件費	
	2 材料費	4,293,898	薬品費・診療材料費等	
	3 経費	4,942,779	病院管理運営事業	986,384
				医師の招へい等事業
				429,622
				建物・備品等維持管理事業
				112,618
	寝具・システム等賃借事業	328,411		
	建物・システム等管理委託事業	3,073,744		
貸倒引当金繰入額	12,000			
4 減価償却費	2,921,365	建物・器械備品等減価償却費		
5 資産減耗費	11,824	たな卸資産減耗及び器械備品等除却費		
6 研究研修費	73,690	医師等の研究・研修事業		
2	2 医業外費用	1,005,728		
	1 支払利息及び企業債取扱諸費	54,423	支払利息	

款 項	目	予 定 額	備 考
	2 長期前払消費税勘定償却	330,668	
	3 消費 税	10,000	
	4 職 員 宿 舎 費	109,478	職員宿舍の借上事業・看護師寮事業
	5 院 内 託 児 費	70,986	
	6 雑 損 失	430,173	
	3 特 別 損 失		2
	1 固定資産売却損	1	
	2 過年度損益修正損	1	
4 予 備 費		10,000	
	1 予 備 費	10,000	

資 本 的 収 入 及 び 支 出

収 入 (単位 千円)

款 項	目	予 定 額	備 考
1 資 本 的 収 入		1,967,026	
1 企 業 債		1,008,300	
	1 企 業 債	1,008,300	
2 出 資 金		109,969	
	1 出 資 金	109,969	
3 負 担 金		846,424	
	1 負 担 金	846,424	
4 固定資産売却代金		1	
	1 固定資産売却代金	1	
5 寄 附 金		1	
	1 寄 附 金	1	
6 国 県 補 助 金		2,330	
	1 国 県 補 助 金	2,330	
7 市 補 助 金		1	
	1 市 補 助 金	1	

支 出 (単位 千円)

款 項	目	予 定 額	備 考
1 資 本 的 支 出		3,623,366	
1 建 設 改 良 費		1,745,903	
	1 建 設 改 良 工 事 費	849,600	市立病院施設整備事業等
	2 固 定 資 産 購 入 費	298,159	市立病院医療機器整備事業等
	3 リース資産購入費	598,144	
2 企 業 債 償 還 金		1,877,463	
	1 企 業 債 償 還 金	1,877,463	

令和3年度さいたま市病院事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位 円)

1	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	当年度純利益	△ 3,333,675,000
	減価償却費	2,921,365,000
	固定資産除却費	10,502,000
	賞与引当金の増減額 (△は減少)	△ 6,693,000
	貸倒引当金の増減額 (△は減少)	12,000,000
	長期前受金戻入額	△ 858,645,000
	受取利息及び受取配当金	△ 1,000
	支払利息	54,423,000
	固定資産売却損	1,000
	固定資産売却益	△ 1,000
	未収金の増減額 (△は増加)	1,162,889,062
	未払金の増減額 (△は減少)	247,365,328
	たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,322,000
	前払費用の増減額 (△は増加)	△ 510,418
	長期前払消費税の増減額 (△は増加)	219,687,400
	小計	430,029,372
	利息及び配当金の受取額	1,000
	利息の支払額	△ 54,423,000
	業務活動によるキャッシュ・フロー	375,607,372
2	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	有形固定資産の取得による支出	△ 998,523,000
	無形固定資産の取得による支出	△ 44,895,000
	有形固定資産の売却による収入	1,000
	国庫補助金等による収入	2,331,000
	一般会計からの繰入金による収入	846,424,000
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 194,662,000
3	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	一時借入れによる収入	3,500,000,000
	一時借入金の返済による支出	△ 3,500,000,000
	建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	1,008,300,000
	建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 1,877,462,279
	リース債務の返済による支出	△ 594,966,644
	一般会計借入金による収入	783,000,000
	一般会計からの出資による収入	109,969,000
	寄附金収入	1,000
	財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 571,158,923
	資金増加額 (又は減少額)	△ 390,213,551
	資金期首残高	608,552,900
	資金期末残高	218,339,349

給 与 費

1 総 括

区 分	職 員 数		給	
	特 別 職	一 般 職	報 酬	給 料
本 年 度	人 1	(116) 人 1, 107	千円 188, 307	千円 4, 018, 709
前 年 度	1	(106) 1, 103	186, 034	4, 010, 646
比 較	0	(10) 4	2, 273	8, 063

※ () は、パートタイム会計年度任用職員

手当の内訳	区 分	管 理 職 手 当	初 任 給 調 整 手 当	扶 養 手 当	地 域 手 当	住 居 手 当	通 勤 手 当	特 殊 勤 務 手 当
	本 年 度	千円 71,340	千円 498,969	千円 73,320	千円 634,316	千円 88,215	千円 88,217	千円 671,806
	前 年 度	74,760	474,441	70,512	632,977	89,276	91,472	520,867
	比 較	△ 3,420	24,528	2,808	1,339	△ 1,061	△ 3,255	150,939

明 細 書

与		法定福利費	合 計	備 考
手 当	費 計			
千円 5,650,854	千円 9,857,870	千円 1,699,427	千円 11,557,297	
5,319,371	9,516,051	1,664,288	11,180,339	
331,483	341,819	35,139	376,958	

時間外 勤務手当	夜間勤務 手 当	宿日直 手 当	管理職員特別 勤務手当	期 末 手 当	勤 勉 手 当	退 職 手 当	児 童 手 当
千円 947,619	千円 100,104	千円 124,560	千円 4,406	千円 1,048,743	千円 720,436	千円 542,308	千円 36,495
942,462	106,475	98,559	3,314	1,105,315	746,089	324,682	38,170
5,157	△ 6,371	26,001	1,092	△ 56,572	△ 25,653	217,626	△ 1,675

ア 会計年度任用職員以外の職員

区 分	職 員 数		給	
	特 別 職	一 般 職	報 酬	給 料
本 年 度	人 1	人 1 0 0 1	千円 7 0 8	千円 3, 6 8 8, 6 3 3
前 年 度	1	9 9 9	7 0 8	3, 6 8 9, 9 5 0
比 較	0	2	0	△ 1, 3 1 7

手当の内訳	区 分	管 理 職 手 当	初 任 給 調 整 手 当	扶 養 手 当	地 域 手 当	住 居 手 当	通 勤 手 当	特 殊 勤 務 手 当
	本 年 度	千円 71, 340	千円 401, 760	千円 73, 320	千円 582, 405	千円 88, 215	千円 78, 720	千円 655, 383
	前 年 度	74, 760	377, 232	70, 512	582, 578	89, 276	79, 836	520, 867
	比 較	△ 3, 420	24, 528	2, 808	△ 173	△ 1, 061	△ 1, 116	134, 516

イ 会計年度任用職員

区 分	職 員 数		給	
	特 別 職	一 般 職	報 酬	給 料
本 年 度	人 0	(1 1 6) 人 1 0 6	千円 1 8 7, 5 9 9	千円 3 3 0, 0 7 6
前 年 度	0	(1 0 6) 1 0 4	1 8 5, 3 2 6	3 2 0, 6 9 6
比 較	0	(1 0) 2	2, 2 7 3	9, 3 8 0

※ () は、パートタイム会計年度任用職員

手当の内訳	区 分	初 任 給 調 整 手 当	地 域 手 当	通 勤 手 当	特 殊 勤 務 手 当	時 間 外 勤 務 手 当	夜 間 勤 務 手 当	宿 日 直 手 当
	本 年 度	千円 97, 209	千円 51, 911	千円 9, 497	千円 16, 423	千円 153, 362	千円 1, 836	千円 69, 132
	前 年 度	97, 209	50, 399	11, 636	0	152, 511	0	60, 375
	比 較	0	1, 512	△ 2, 139	16, 423	851	1, 836	8, 757

与		法定福利費	合計	備考
手当	費計			
千円 5,152,721	千円 8,842,062	千円 1,521,874	千円 10,363,936	
4,848,523	8,539,181	1,528,471	10,067,652	
304,198	302,881	△6,597	296,284	

時間外 勤務手当	夜間勤務 手当	宿日直 手当	管理職員特別 勤務手当	期末 手当	勤勉 手当	退職 手当	児童 手当
千円 794,257	千円 98,268	千円 55,428	千円 4,406	千円 966,900	千円 720,436	千円 525,388	千円 36,495
789,951	106,475	38,184	3,314	1,020,963	746,089	310,316	38,170
4,306	△ 8,207	17,244	1,092	△ 54,063	△ 25,653	215,072	△ 1,675

与		法定福利費	合計	備考
手当	費計			
千円 498,133	千円 1,015,808	千円 177,553	千円 1,193,361	
470,848	976,870	135,817	1,112,687	
27,285	38,938	41,736	80,674	

期末 手当	退職 手当
千円 81,843	千円 16,920
84,352	14,366
△ 2,509	2,554

2 給料及び手当の増減額の明細

区 分	増 減 額	増 減 事 由	別 内 訳
給 料	千円 8,063	昇給に伴う増加分	千円 65,385
		その他の増減分	△57,322
手 当	331,483	給与改定に伴う増減分	△25,366
		その他の増減分	356,849

3 給料及び手当の状況

(1) 職員1人当たり給与

区 分		医療職(1)	医療職(2)
3年1月1日 現 在	平均給料月額(円)	471,114	284,461
	平均給与月額(円)	1,434,484	452,791
	平均年齢(歳)	44.8	36.4
2年1月1日 現 在	平均給料月額(円)	477,451	283,990
	平均給与月額(円)	1,290,993	479,442
	平均年齢(歳)	45.8	36.4

(2) 初任給

区 分		医療職(1)	医療職(2)
さいたま市	高校卒	—	—
	短大卒	—	173,800円
	大学卒	290,300円	186,200円
国の制度	高校卒	—	—
	短大卒	—	166,400円
	大学卒	249,800円	188,400円

説	明	備	考
		(昇給期) 昇給職員数 4月	(職員数) 928人
		職員数の異動状況 () は、パートタイム会計年度任用職員 本年度 1,107人 (116人) 前年度 1,103人 (106人) 増減 4人 (10人)	
		令和2年度の給与改定 ・期末手当支給率の改定	
		職員数の異動状況 () は、パートタイム会計年度任用職員 本年度 1,107人 (116人) 前年度 1,103人 (106人) 増減 4人 (10人)	

医療職(3)	行政職	技能職
280,856	319,333	362,900
427,256	486,481	489,969
35.1	40.5	53.7
283,268	316,269	363,933
406,980	565,974	462,637
35.6	40.1	54.1

医療職(3)	行政職
-	146,400円
199,300円	-
212,200円	179,900円
-	150,600円
192,400円	-
212,600円	182,200円

(3) 級別職員数

区 分	医療職 (1)			医療職 (2)		
	級	職員数	構成比	級	職員数	構成比
3年1月1日現在		人	%		人	%
	1級	18	16.7	1級	33	20.6
	2級	44	40.7	2級	84	52.5
	3級	24	22.2	3級	27	16.9
	4級	19	17.6	4級	10	6.2
	5級	3	2.8	5級	6	3.8
				6級	0	0.0
	計	108	100.0	計	160	100.0
2年1月1日現在		人	%		人	%
	1級	15	14.1	1級	37	24.7
	2級	41	38.7	2級	69	46.0
	3級	27	25.5	3級	29	19.3
	4級	20	18.9	4級	10	6.7
	5級	3	2.8	5級	5	3.3
				6級	0	0.0
	計	106	100.0	計	150	100.0

医療職（3）			行政職			技能職		
級	職員数	構成比	級	職員数	構成比	級	職員数	構成比
	人	%		人	%		人	%
1級	188	28.4	1級	16	26.7	1級	0	0.0
2級	293	44.3	2級	15	25.0	2級	1	14.3
3級	125	18.9	3級	17	28.3	3級	6	85.7
4級	51	7.7	4級	5	8.3			
5級	3	0.5	5級	4	6.7			
6級	1	0.2	6級	2	3.3			
			7級	1	1.7			
			8級	0	0.0			
計	661	100.0	計	60	100.0	計	7	100.0
	人	%		人	%		人	%
1級	166	28.2	1級	14	23.7	1級	0	0.0
2級	255	43.3	2級	16	27.1	2級	1	11.1
3級	118	20.0	3級	18	30.5	3級	8	88.9
4級	45	7.7	4級	4	6.8			
5級	3	0.5	5級	5	8.5			
6級	2	0.3	6級	1	1.7			
			7級	1	1.7			
			8級	0	0.0			
計	589	100.0	計	59	100.0	計	9	100.0

(級別の主な職務内容)

区 分	1 級	2 級	3 級	4 級
医療職 (1)	医師又は歯科医師の職務	(1) 医長の職務 (2) 専門的知識又は経験に基づき困難な業務を所掌する医師又は歯科医師の職務	科長の職務	(1) 病院の部長又は所長の職務 (2) 院長補佐の職務
医療職 (2)	薬剤師、栄養士、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、理学療法士、作業療法士、視能訓練士、言語聴覚士又は歯科衛生士の職務	(1) 主任の職務 (2) 困難な業務を所掌する薬剤師、栄養士、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、理学療法士、作業療法士、視能訓練士、言語聴覚士又は歯科衛生士の職務	(1) 主査の職務 (2) 困難な業務を行う主任の職務	副科長又は副技師長の職務
医療職 (3)	保健師、助産師又は看護師の職務	(1) 主任の職務 (2) 困難な業務を所掌する助産師又は看護師の職務	(1) 臨床指導員の職務 (2) 主査の職務 (3) 困難な業務を行う主任の職務	(1) 看護師長の職務 (2) 副看護師長の職務
行政職	主事又は技師の職務	主任の職務	(1) 係長の職務 (2) 主査の職務	(1) 課長補佐又は室長補佐の職務 (2) 主幹の職務
技能職	業務主事の職務	業務主任の職務	業務主査の職務	

5 級	6 級	7 級	8 級
(1) 医務監の職務 (2) 院長の職務 (3) 副院長の職務			
科長又は技師長の職務	(1) 次長の職務 (2) 参事の職務		
(1) 副看護部長の職務 (2) 副参事の職務	(1) 副院長の職務 (2) 病院の部長又は所長の職務		
(1) 課長又は室長の職務 (2) 副参事の職務 (3) 副所長の職務	(1) 次長の職務 (2) 参事の職務	部長の職務	理事の職務

(4) 地域手当

支給対象地域	さいたま市全域
支給率	15% (医療職(1)適用者は16%)
支給対象職員数	1001人 (うち医療職(1)適用者120人)
国の指定基準に基づく支給率	15%

(5) 特殊勤務手当

区分	全職種	医療職(1)	医療職(2)	医療職(3)	行政職	技能職
給料額に対する比率(%)	17.8%	34.6%	5.2%	17.6%	1.0%	10.2%
支給対象職員の比率(%) (3年1月1日現在)	95.0%	100.0%	100.0%	100.0%	16.7%	100.0%
代表的な特殊勤務手当の名称	医療業務手当、病院等業務手当、夜間看護業務手当、救急業務手当					

(6) 期末手当・勤勉手当

区分	支給期別支給率		支給率計	職制上の段階、職務の 級等による加算措置	備考
	6月 月分	12月 月分			
本年度	2.225	2.225	4.45	有	
前年度	2.250	2.200	4.45	有	
国の制度	2.225	2.225	4.45	有	

(7) 定年退職及び勸奨退職に係る退職手当

区分	20年 勤続の者 月分	25年 勤続の者 月分	35年 勤続の者 月分	最高限度 月分	その他の 加算措置等
支給率等	24.586875	33.27075	47.709	47.709	定年前早期退職特例措置 (1年につき2%加算)
国の制度 (支給率等)	24.586875	33.27075	47.709	47.709	定年前早期退職特例措置 (1年につき3%を上限として加算)

(8) その他の手当

区分	国の制度との異同	主な差異の内容
扶養手当	同じ	
住居手当	同じ	
通勤手当	同じ	

※3は、会計年度任用職員以外の職員のみ記載。

継 続 費 に

(令和2年度以前設定分)

款	項	事業名	全 体 計				
			年度	年 割 額	左 の 財 源 内		
					国県支出金	企業債	一般会計 負担金
1 資本的支出	1 建設改良費	市立病院 外構整備事業	2	0	0	0	0
			3	470,332	0	424,100	0
			4	1,221,049	0	1,101,500	0
			5	48,573	0	43,800	0
			計	1,739,954	0	1,569,400	0
		市立病院 周産期棟改修事業	2	0	0	0	0
			3	323,291	0	292,400	0
			4	461,840	0	417,700	0
			計	785,131	0	710,100	0

関 する 調 査 書

(単位 千円)

画 訳	令 度 支 発	和 末 ま 払 義 生	元 ま で 義 務 額	令 度 支 発 (見込)	和 末 ま 払 義 務 額	2 年 ま で 義 務 生 額	令 度 支 発	和 支 生 予 定	3 年 ま で 義 務 額	令 度 支 発	和 末 ま 払 義 務 額	3 年 ま で 義 務 額	令 度 支 発	和 以 降 義 務 額	4 年 ま で 義 務 額	繼 続 費 額 対 進 率 (%)	の に る 率 (%)	備 考
損益勘定 留保資金等																		
0	—			0	—				0	—						0.0		—
46,232	—			—	470,332				470,332	—						27.0		—
119,549	—			—	—				—	1,221,049						—		—
4,773	—			—	—				—	48,573						—		—
170,554	—			0	470,332				470,332	1,269,622						27.0		—
0	—			0	—				0	—						0.0		—
30,891	—			—	323,291				323,291	—						41.2		—
44,140	—			—	—				—	461,840						—		—
75,031	—			0	323,291				323,291	461,840						41.2		—

債務負担行為に関する調書

(令和3年度設定分)

(単位 千円)

事項	限度額	令和2年度末までの 支払義務発生(見込)額		令和3年度以降の 支払義務発生予定額		左の財源の内訳		
		期間	金額	期間	金額	企業債	一般会計 負担金	損益勘定 留保資金等
市立病院外構工事修正設計業務	23,734	—	—	令和3年度 から令和4 年度まで	23,734	0	0	23,734
さいたま市立病院建設事業環境 影響評価事後調査書作成業務 (その2)	23,243	—	—	令和3年度 から令和5 年度まで	23,243	0	0	23,243
一般撮影装置外保守業務	88,924	—	—	令和4年度 から令和7 年度まで	88,924	0	0	88,924
三次元放射線治療計画装置保守 業務	33,880	—	—	令和4年度 から令和7 年度まで	33,880	0	0	33,880
手術支援ロボット対应手術台保 守業務	4,840	—	—	令和4年度 から令和7 年度まで	4,840	0	0	4,840
電子図書購読料	8,399	—	—	令和4年度 から令和6 年度まで	8,399	0	0	8,399
医事業務	494,042	—	—	令和4年度	494,042	0	0	494,042
さいたま市立病院医療総合情報 システムオペレーション業務	94,199	—	—	令和4年度 から令和6 年度まで	94,199	0	0	94,199

(令和2年度以前設定分)

(単位 千円)

事項	限度額	令和2年度末までの 支払義務発生(見込)額		令和3年度以降の 支払義務発生予定額		左の財源の内訳		
		期間	金額	期間	金額	企業債	一般会計 負担金	損益勘定 留保資金等
市立病院ESCO・防災エネル ギーセンター更新事業	30,000	平成28年度 から令和2 年度まで	14,750	令和3年度 から令和6 年度まで	12,000	0	0	12,000
市立病院ESCO・防災エネル ギーセンター更新事業(追加 分)	3,860	平成28年度 から令和2 年度まで	421	令和3年度 から令和7 年度まで	3,439	0	0	3,439
市立病院ESCO・防災エネル ギーセンター更新事業(追加分 その2)	258	平成28年度 から令和2 年度まで	0	令和3年度 から令和8 年度まで	258	0	0	258
新病院開院に伴う院内物流管理 (SPD)業務	135,432	平成30年度 から令和2 年度まで	77,286	令和3年度	58,133	0	0	58,133
新病院開院に伴う情報システム 賃貸借業務	3,020,466	平成30年度 から令和2 年度まで	609,848	令和3年度 から令和6 年度まで	1,829,543	0	0	1,829,543
市立病院ESCO・防災エネル ギーセンター更新事業(追加分 その3)	348	令和2年度	58	令和3年度 から令和8 年度まで	290	0	0	290
院内業務ネットワーク構築事業	276,536	令和2年度	57,852	令和3年度 から令和6 年度まで	216,945	0	0	216,945

(単位 千円)

事項	限度額	令和2年度末までの 支払義務発生(見込)額		令和3年度以降の 支払義務発生予定額		左の財源の内訳		
		期間	金額	期間	金額	企業債	一般会計 負担金	損益勘定 留保資金等
全自動検体検査総合システム賃借	206,910	令和2年度	49,554	令和3年度 から令和6 年度まで	147,391	0	0	147,391
手術支援ロボット保守業務	53,900	令和2年度	8,926	令和3年度 から令和5 年度まで	37,339	0	0	37,339
全自動検体検査装置保守業務	46,613	—	—	令和3年度 から令和6 年度まで	46,613	0	0	46,613
放射線治療システム保守業務	176,459	—	—	令和3年度 から令和7 年度まで	176,459	0	0	176,459
多目的デジタルX線テレビシステム保守業務	21,776	—	—	令和3年度 から令和7 年度まで	21,776	0	0	21,776
人工透析関連機器保守業務	58,443	—	—	令和3年度 から令和8 年度まで	58,443	0	0	58,443
定位放射線治療装置保守業務	189,063	—	—	令和3年度 から令和7 年度まで	189,063	0	0	189,063
C T装置保守業務	405,688	—	—	令和3年度 から令和7 年度まで	405,688	0	0	405,688
I V R - C T装置保守業務	186,751	—	—	令和3年度 から令和7 年度まで	186,751	0	0	186,751
M R I 保守業務	153,754	—	—	令和3年度 から令和7 年度まで	153,754	0	0	153,754
血管撮影装置保守業務	66,647	—	—	令和3年度 から令和7 年度まで	66,647	0	0	66,647
回診用X線撮影装置及びF P D 装置保守業務	118,871	—	—	令和3年度 から令和7 年度まで	118,871	0	0	118,871
乳房撮影装置保守業務	13,676	—	—	令和3年度 から令和7 年度まで	13,676	0	0	13,676
未収金回収業務	6,105	—	—	令和3年度	6,105	0	0	6,105
医事業務	480,362	—	—	令和3年度	480,362	0	0	480,362
新病院開設に伴う情報システム 賃借(追加分)	43,714	—	—	令和3年度 から令和6 年度まで	43,714	0	0	43,714

令和3年度さいたま市病院事業予定貸借対照表
(令和4年3月31日)

(単位 円)

		資	産	の	部	
1	固定資産					
	(1) 有形固定資産					
	イ 土地			1,547,993,564		
	ロ 建物	41,390,717,538				
	減価償却累計額	<u>△ 14,193,059,548</u>			27,197,657,990	
	ハ 構築物	582,339,882				
	減価償却累計額	<u>△ 266,874,724</u>			315,465,158	
	ニ 器械備品	9,804,549,013				
	減価償却累計額	<u>△ 4,937,306,868</u>			4,867,242,145	
	ホ 車両	12,428,367				
	減価償却累計額	<u>△ 8,619,035</u>			3,809,332	
	ヘ リース資産	1,474,047,063				
	減価償却累計額	<u>△ 805,467,774</u>			668,579,289	
	ト 建設仮勘定			810,747,020		
	チ その他備品			<u>3,250,000</u>		
	有形固定資産合計					35,414,744,498
	(2) 無形固定資産					
	イ 電話加入権			240,900		
	ロ リース資産			817,447,838		
	ハ ソフトウェア			<u>56,652,000</u>		
	無形固定資産合計					874,340,738
	(3) 投資その他の資産					
	イ 破産更生債権等	133,463,212				
	貸倒引当金	<u>△ 133,463,212</u>			0	
	ロ 長期前払消費税			<u>2,484,838,988</u>		
	投資その他の資産合計					<u>2,484,838,988</u>
	固定資産合計					38,773,924,224
2	流動資産					
	(1) 現金預金					
	イ 現金			7,500,000		
	ロ 預金			<u>210,839,349</u>		
	現金預金合計					218,339,349
	(2) 未収金					
	イ 医業未収金			2,070,790,440		
	ロ 医業外未収金			<u>630,629,000</u>		
	未収金合計					2,701,419,440
	(3) 貯蔵品					
	イ 薬品			45,071,437		
	ロ 診療材料			21,765,551		
	ハ その他貯蔵品			<u>460,628</u>		
	貯蔵品合計					67,297,616
	(4) 前払費用					
	イ 前払費用			<u>5,187,585</u>		
	前払費用合計					<u>5,187,585</u>
	流動資産合計					<u>2,992,243,990</u>
	資産合計					<u>41,766,168,214</u>

負 債 の 部

3	固 定 負 債			
	(1) 企 業 債			
	イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	<u>30,618,983,671</u>		
	企 業 債 合 計		30,618,983,671	
	(2) 他会計借入金			
	イ その他の長期借入金	<u>704,700,000</u>		
	他会計借入金合計		704,700,000	
	(3) リース債務		1,054,523,828	
	(4) 引 当 金			
	イ 退職給付引当金	<u>2,682,254,378</u>		
	引 当 金 合 計		<u>2,682,254,378</u>	
	固 定 負 債 合 計			35,060,461,877
4	流 動 負 債			
	(1) 企 業 債			
	イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	<u>1,874,553,445</u>		
	企 業 債 合 計		1,874,553,445	
	(2) 他会計借入金			
	イ その他の長期借入金	<u>78,300,000</u>		
	他会計借入金合計		78,300,000	
	(3) リース債務		590,439,372	
	(4) 未 払 金			
	イ 医 業 未 払 金	1,316,352,614		
	ロ そ の 他 未 払 金	<u>49,547,019</u>		
	未 払 金 合 計		1,365,899,633	
	(5) 前受収益		77,000	
	(6) 引 当 金			
	イ 賞 与 引 当 金	<u>709,158,000</u>		
	引 当 金 合 計		709,158,000	
	(7) その他流動負債			
	イ 預 り 金	<u>27,507,329</u>		
	その他流動負債合計		<u>27,507,329</u>	
	流 動 負 債 合 計			4,645,934,779
5	繰 延 収 益			
	(1) 長期前受金			
	イ 受贈財産評価額	3,932,767		
	収益化累計額	<u>△ 3,736,129</u>	196,638	
	ロ 国庫補助金	377,101,000		
	収益化累計額	<u>△ 166,725,990</u>	210,375,010	
	ハ 県補助金	232,012,232		
	収益化累計額	<u>△ 179,117,501</u>	52,894,731	
	ニ 市補助金	5,001,000		
	収益化累計額	<u>△ 4,749,999</u>	251,001	
	ホ 他会計補助金	6,880,688,935		
	収益化累計額	<u>△ 6,426,918,693</u>	453,770,242	
	ヘ 寄 附 金	<u>2,000</u>		
	長期前受金合計		<u>717,489,622</u>	
	繰 延 収 益 合 計			<u>717,489,622</u>
	負 債 合 計			<u>40,423,886,278</u>

資 本 の 部

6 資 本 金			8,982,200,087
7 剰 余 金			
(1) 資本剰余金			
イ 受贈財産評価額	<u>3,250,000</u>		
資本剰余金合計		3,250,000	
(2) 欠 損 金			
イ 当年度未処理欠損金	<u>7,643,168,151</u>		
欠 損 金 合 計		<u>7,643,168,151</u>	
剰 余 金 合 計			<u>△ 7,639,918,151</u>
資 本 合 計			<u>1,342,281,936</u>
負 債 資 本 合 計			<u><u>41,766,168,214</u></u>

注記

1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 先入先出法による原価法によっている。(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定。)

(2) 固定資産の減価償却方法

イ 有形固定資産（リース資産を除く。）

(イ) 減価償却の方法

定額法による。

(ロ) 主な耐用年数

建物 10～47年

構築物 10～30年

器械備品 4～20年

車両 5年

ロ 無形固定資産（リース資産を除く。）

(イ) 減価償却の方法

定額法による。

(ロ) 主な耐用年数

ソフトウェア 5年

ハ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用している。

(3) 引当金の計上方法

イ 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度の退職手当の期末要支給額に相当する金額を計上している。

ロ 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給、並びにこれらに係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき当年度の負担に属する額を計上している。

ハ 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、破産更生債権等特定の債権については回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式を採用し、控除対象外消費税等については原則として当該事業年度の費用としている。また、固定資産に係る控除対象外消費税等については長期前払消費税勘定に計上し、発生の翌年度以降、次の期間で均等償却を行っている。

なお、平成28年度以前に発生した固定資産に係る控除対象外消費税等については、発生の翌年度以降5年間で均等償却を行っている。

- イ 有形固定資産（リース資産を除く。）
 - 建物 10～20年
 - 構築物 10～20年
 - 器械備品 5年
- ロ 無形固定資産（リース資産を除く。）
 - ソフトウェア 5年
- ハ リース資産
 - 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
 - リース期間

2 予定キャッシュ・フロー計算書に関する注記

重要な非資金取引

当年度、新たに計上するファイナンス・リース取引に係る資産及び負債の額は、それぞれ 66,396,000 円、77,035,600 円である。

3 予定貸借対照表に関する注記

企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当該事業年度の末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む）のうち、一般会計が負担すると見込まれる額は 16,319,235,305 円である。

4 セグメント情報に関する注記

さいたま市病院事業の報告セグメントの区分は単一であるため、記載を省略している。

5 減損損失に関する注記

該当事項なし。

6 リース契約により使用する固定資産に関する注記

リース取引の処理方法

所有権移転ファイナンス・リース取引及びリース料総額が 300 万円を超える所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

リース料総額が 300 万円以下の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

7 重要な後発事象に関する注記

該当事項なし。

8 その他の注記

(1) 引当金の取崩し

イ 退職給付引当金

当年度において、退職給付引当金 542,308,000 円を取り崩す。

ロ 賞与引当金

当年度において、賞与引当金 715,851,000 円を取り崩す。

(2) 長期継続契約に係るリース債務

通常の売買取引の方法に準じた会計処理を行ったリース取引に係るリース債務のうち、地方自治法第 234 条の 3 に基づく長期継続契約に係るものは次の金額である。

短期リース債務	590,439,372 円
<u>長期リース債務</u>	<u>1,054,523,828 円</u>
計	1,644,963,200 円

令和2年度さいたま市病院事業予定損益計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位 円)

1	医業収益			
(1)	入院収益	11,970,502,000		
(2)	外来収益	3,387,848,000		
(3)	負担金交付金	742,754,000		
(4)	その他医業収益	<u>346,722,000</u>	16,447,826,000	
2	医業費用			
(1)	給与費	10,933,506,000		
(2)	材料費	4,409,518,000		
(3)	経費	3,903,479,000		
(4)	減価償却費	3,251,723,000		
(5)	資産減耗費	12,144,000		
(6)	研究研修費	<u>54,105,000</u>	<u>22,564,475,000</u>	
	医業損失			6,116,649,000
3	医業外収益			
(1)	受取利息配当金	1,000		
(2)	国県市補助金	2,307,637,000		
(3)	負担金交付金	2,225,706,000		
(4)	長期前受金戻入	499,133,000		
(5)	その他医業外収益	<u>165,811,000</u>	5,198,288,000	
4	医業外費用			
(1)	支払利息及び企業債取扱諸費	56,709,000		
(2)	長期前払消費税勘定償却	343,361,000		
(3)	職員宿舍費	84,242,000		
(4)	院内託児費	64,053,000		
(5)	雑損失	<u>835,777,000</u>	1,384,142,000	
5	予備費			
(1)	予備費	<u>3,000,000</u>	<u>3,000,000</u>	<u>3,811,146,000</u>
	経常損失			2,305,503,000
6	特別利益			
(1)	固定資産売却益	1,000		
(2)	過年度損益修正益	1,000		
(3)	その他特別利益	<u>7,000,000</u>	7,002,000	
7	特別損失			
(1)	固定資産売却損	1,000		
(2)	過年度損益修正損	1,000		
(3)	その他特別損失	<u>7,000,000</u>	<u>7,002,000</u>	<u>0</u>
	当年度純損失			2,305,503,000
	前年度繰越欠損金			<u>2,003,990,151</u>
	当年度未処理欠損金			<u><u>4,309,493,151</u></u>

令和2年度さいたま市病院事業予定貸借対照表
(令和3年3月31日)

(単位 円)

		資	産	の	部	
1	固定資産					
	(1) 有形固定資産					
	イ 土地			1,547,993,564		
	ロ 建物	41,390,717,538				
	減価償却累計額	<u>△ 13,000,636,548</u>				28,390,080,990
	ハ 構築物	582,339,882				
	減価償却累計額	<u>△ 240,114,724</u>				342,225,158
	ニ 器械備品	9,746,993,013				
	減価償却累計額	<u>△ 3,993,773,868</u>				5,753,219,145
	ホ 車両	8,971,367				
	減価償却累計額	<u>△ 7,360,035</u>				1,611,332
	ヘ リース資産	1,407,651,063				
	減価償却累計額	<u>△ 442,455,744</u>				965,195,319
	ト 建設仮勘定			83,278,020		
	チ その他備品			<u>3,250,000</u>		
	有形固定資産合計					37,086,853,528
	(2) 無形固定資産					
	イ 電話加入権			240,900		
	ロ リース資産			996,244,808		
	ハ ソフトウェア			<u>27,800,000</u>		
	無形固定資産合計					1,024,285,708
	(3) 投資その他の資産					
	イ 破産更生債権等	121,463,212				
	貸倒引当金	<u>△ 121,463,212</u>				0
	ロ 長期前払消費税			<u>2,704,526,388</u>		
	投資その他の資産合計					<u>2,704,526,388</u>
	固定資産合計					40,815,665,624
2	流動資産					
	(1) 現金預金					
	イ 現金			7,500,000		
	ロ 預金			<u>601,052,900</u>		
	現金預金合計					608,552,900
	(2) 未収金					
	イ 医業未収金			2,706,566,502		
	ロ 医業外未収金			<u>1,169,742,000</u>		
	未収金合計					3,876,308,502
	(3) 貯蔵品					
	イ 薬品			46,393,437		
	ロ 診療材料			21,765,551		
	ハ その他貯蔵品			<u>460,628</u>		
	貯蔵品合計					68,619,616
	(4) 前払費用					
	イ 前払費用			<u>4,677,167</u>		
	前払費用合計					<u>4,677,167</u>
	流動資産合計					<u>4,558,158,185</u>
	資産合計					<u><u>45,373,823,809</u></u>

負 債 の 部

3	固定負債			
	(1) 企業債			
	イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	<u>31,485,237,116</u>		
	企業債合計		31,485,237,116	
	(2) リース債務		1,586,534,120	
	(3) 引当金			
	イ 退職給付引当金	<u>2,682,254,378</u>		
	引当金合計		<u>2,682,254,378</u>	
	固定負債合計			35,754,025,614
4	流動負債			
	(1) 企業債			
	イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	<u>1,877,462,279</u>		
	企業債合計		1,877,462,279	
	(2) リース債務		581,319,588	
	(3) 未払金			
	イ 医業未払金	1,075,626,886		
	ロ その他未払金	<u>48,587,555</u>		
	未払金合計		1,124,214,441	
	(4) 前受収益		77,000	
	(5) 引当金			
	イ 賞与引当金	<u>715,851,000</u>		
	引当金合計		715,851,000	
	(6) その他流動負債			
	イ 預り金	<u>27,507,329</u>		
	その他流動負債合計		<u>27,507,329</u>	
	流動負債合計			4,326,431,637
5	繰延収益			
	(1) 長期前受金			
	イ 受贈財産評価額	3,932,767		
	収益化累計額	<u>△ 3,736,129</u>	196,638	
	ロ 国庫補助金	374,771,000		
	収益化累計額	<u>△ 156,393,990</u>	218,377,010	
	ハ 県補助金	232,012,232		
	収益化累計額	<u>△ 179,081,501</u>	52,930,731	
	ニ 市補助金	5,000,000		
	収益化累計額	<u>△ 4,749,999</u>	250,001	
	ホ 他会計補助金	6,034,264,935		
	収益化累計額	<u>△ 5,578,641,693</u>	455,623,242	
	ヘ 寄附金	<u>1,000</u>		
	長期前受金合計		<u>727,378,622</u>	
	繰延収益合計			<u>727,378,622</u>
	負債合計			<u>40,807,835,873</u>

資 本 の 部

6 資 本 金			8,872,231,087
7 剰 余 金			
(1) 資本剰余金			
イ 受贈財産評価額	<u>3,250,000</u>		
資本剰余金合計		3,250,000	
(2) 欠 損 金			
イ 当年度未処理欠損金	<u>4,309,493,151</u>		
欠 損 金 合 計		<u>4,309,493,151</u>	
剰 余 金 合 計			<u>△ 4,306,243,151</u>
資 本 合 計			<u>4,565,987,936</u>
負 債 資 本 合 計			<u><u>45,373,823,809</u></u>

注記

1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 先入先出法による原価法によっている。(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定。)

(2) 固定資産の減価償却方法

イ 有形固定資産（リース資産を除く。）

(イ) 減価償却の方法

定額法による。

(ロ) 主な耐用年数

建物 10～47年

構築物 10～30年

器械備品 4～20年

車両 5年

ロ 無形固定資産（リース資産を除く。）

(イ) 減価償却の方法

定額法による。

(ロ) 主な耐用年数

ソフトウェア 5年

ハ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用している。

(3) 引当金の計上方法

イ 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度の退職手当の期末要支給額に相当する金額を計上している。

ロ 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給、並びにこれらに係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき当年度の負担に属する額を計上している。

ハ 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、破産更生債権等特定の債権については回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式を採用し、控除対象外消費税等については原則として当該事業年度の費用としている。また、固定資産に係る控除対象外消費税等については長期前払消費税勘定に計上し、発生の翌年度以降、次の期間で均等償却を行っている。

なお、平成28年度以前に発生した固定資産に係る控除対象外消費税等については、発生の翌年度以降5年間で均等償却を行っている。

- イ 有形固定資産（リース資産を除く。）
 - 建物 10～20年
 - 構築物 10～20年
 - 器械備品 5年
- ロ 無形固定資産（リース資産を除く。）
 - ソフトウェア 5年
- ハ リース資産
 - 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
 - リース期間

2 予定キャッシュ・フロー計算書に関する注記

該当事項なし。

3 予定貸借対照表に関する注記

企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当該事業年度の末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む）のうち、一般会計が負担すると見込まれる額は16,765,297,795円である。

4 セグメント情報に関する注記

さいたま市病院事業の報告セグメントの区分は単一であるため、記載を省略している。

5 減損損失に関する注記

該当事項なし。

6 リース契約により使用する固定資産に関する注記

リース取引の処理方法

所有権移転ファイナンス・リース取引及びリース料総額が300万円を超える所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

リース料総額が300万円以下の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

7 重要な後発事象に関する注記

該当事項なし。

8 その他の注記

(1) 引当金の取崩し

イ 退職給付引当金

当年度において、退職給付引当金324,681,887円を取り崩す。

ロ 賞与引当金

当年度において、賞与引当金611,826,000円を取り崩す。

(2) 長期継続契約に係るリース債務

通常の売買取引の方法に準じた会計処理を行ったリース取引に係るリース債務のうち、地方自治法第 234 条の 3 に基づく長期継続契約に係るものは次の金額である。

短期リース債務	581,319,588 円
<u>長期リース債務</u>	<u>1,586,534,120 円</u>
計	2,167,853,708 円

この冊子は 450 部作成し、1 部当たりの印刷経費は、191 円です。